

だんだん便り

発 行：一般社団法人だんだん会

責任者：宮崎和加子

第 69 号 2023 年 7 月 10 日



九輪の輝き

小さな沢筋に咲くクリンソウ、せせらぎに光が当たり水玉模様が盛り立て
ている。天辺まで咲き上り、盛夏は間近だ。

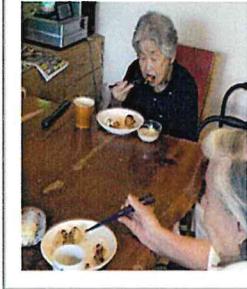
撮影場所：長野県富士見町 小山 茂(茅野市)

グレーフホームわいわい白州・尾白



たこ焼きパーティー

甘いのとしおっぱいのと両方ご用意。
さあ～！どちら食べられますか？？



花植え・苗植え合同祭

お天気にも恵まれ、外の空気を吸って
気分もリフレッシュ！！
心も晴れ晴れ！！！！！



6月17日 家族懇談会開催。貴重なご意見ありがとうございました。

今後もどうぞ宜しくお願いします。

わいわい白州職員一同

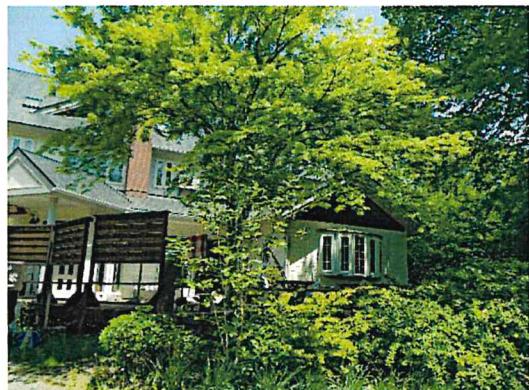
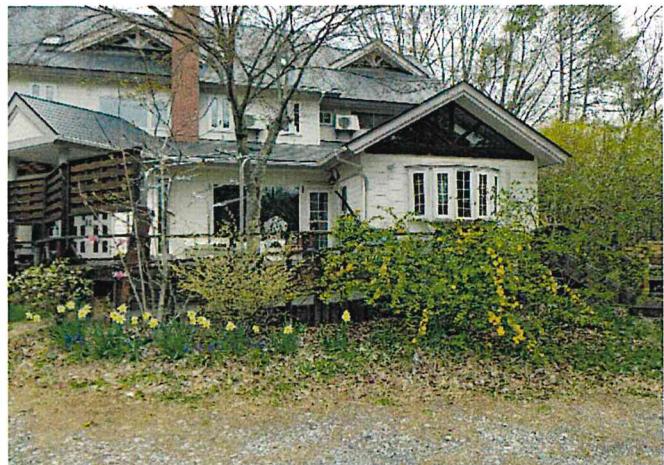
わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

庭の木々も頑張っています!!

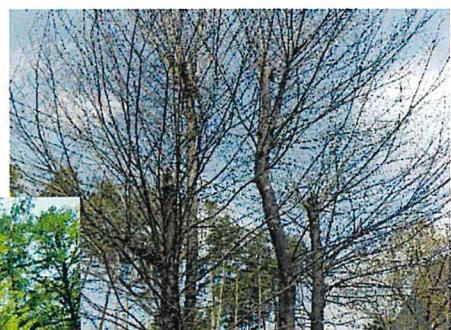
暑さも本番を迎えつつあります。地球温暖化の影響かもしれません、年々夏の暑さが厳しくなっているのではないかと感じます。こうした暑さを和らげてくれる助っ人として頑張っているわがままハウス山吹の庭の木々達たちを紹介します。

施設名の由来である山吹は、5月初旬にあでやかな山吹色の花を咲かせ皆様を楽しませてくれます。夏には緑葉が重なり合ってまぶしい夏の日差しを和らげてくれ、目も心もほっとします。

ありがたい日陰を提供してくれるのが、ベランダのもみじと駐車場ロータリーの大きな工ゴの木です。（シンボルツリー）



駐車場のロータリーのシンボルツリーは、立派な葉がついており威風堂々としています。4年前の改築工事には枝が枝がバッサリ切られて痛々しい姿でしたが、今は見事です。



ベランダのもみじは、秋には紅葉が楽しみですが、夏には緑の葉が涼しい木陰となり、憩いの場。

このようにわがままハウス山吹の庭の木々は、静かな助っ人として施設の運営に貢献してくれて感謝です。木々の寛容さに感謝するとともに、いろいろなところで寛容の精神がさらに広がればいいと思います。

（担当スタッフ：池永博子）

オレンジサロンわいわい白州・長坂

今年、コロナウイルス感染症が5類に変わって、できるだけ外に出かけています。この季節、外す訳にはいきません！見事な「バラ園」、今年も散策してまいりました。



バラの香り・鮮やかな色
思い思いに散策を楽しんでいただきました。

大泉町 阿部様邸



「リハ特化半日テイルるんるん」

梅雨入りし、蒸し暑い日々が続きますね。しかし、日中の蒸し暑さから一転、朝晩は冷え込み肌寒い日も少なくありません。着る物の調節にも悩みますし、疲れが取れず何となくすっきりとしません。少し憂鬱な気分になってしまふ日々ですが、田んぼの稻の生長を見たり、偶然虫に逢うことが出来たり、カエルの大合唱を聞いたり、自然を感じることが出来るとささやかながら幸せを感じます。

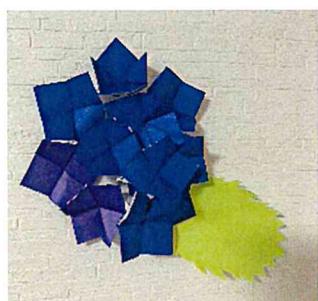
さて、梅雨の時期のお花と言えば、紫陽花を思い浮かべることが多いのではないでしょうか。今月号では、るんるんに咲いた紫陽花をご紹介したいと思います。



フェルト・ビーズ・針金で作ったとても
素敵な紫陽花のブローチ。利用者様の手
作りです。



利用者様のご
自宅からやっ
てきた紫陽花
がるんるんを
彩っていま
す。



折り紙で作った紫陽花がるんるんの
室内を飾っています。



元旦から訪問開始のご夫婦のお話し

定期巡回てくてく24 藤井久美子

富夫さん92才、元公務員。華子さん90才でほんわか優しい専業主婦。お2人とも認知症があります。

訪問を開始したばかりの時、富夫さんは私達が入室するのも嫌がり『娘さんに頼まれて来ました！』が私達の合言葉でした。富夫さんはソファでグッタリ…お声掛けしても顔を上げるのが精一杯。

*

ヘビースモーカーでの富夫さん宅の床は焦げだらけでした。そんなお2人、今では笑顔も会話も多くなり、富夫さんなんて独特の形の“マイイズ”にまたがり自慢げに昔話をされます。

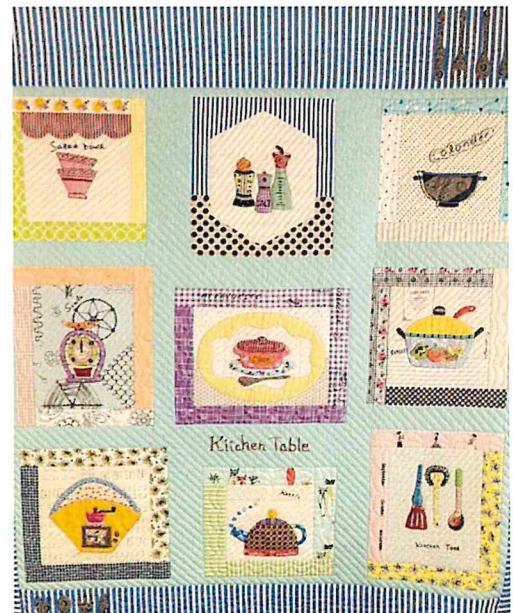
新しいヘルパーが行くと『座れ！面接だ！』と笑って大きな声でヘルパーをビックリさせます。そんなヘルパーに優しく声をかけて下さる華子さん。どうぞ…と差し出して下さったコーヒー。

私達はいただけませんが、目の前で飲む富夫さんのそのコーヒーは、ミートボール入りの特別なものでした。

*

またある日の事。排泄支援をすると、あれ？ 布パンツ？…いつもはリハビリパンツの富夫さん、どこに行ったのか？ リハビリパンツ…。恐る恐るトイレを覗くと、そこは便だらけの便器が…そこへ華子さん『こりゃお父さんの仕業だよ』とニンマリ。

訪問開始の時は、富夫さんに怒鳴られてばかりの華子さんでしたが、今は怒鳴っている富夫さんを横目に、大好きなパッチワークの作品を見せて下さいます。とても強くなりました。



これから暑い夏がやってきます！ 室内28°Cでも、まだまだ寒いとストーブをつける富夫さん。今日は暑いですよ！と伝えても、俺は寒がりなんだ！と…。富夫さんとのお付き合いは、一筋縄ではいきません…（笑）。この夏、新たな“戦い”が始まる予感。でも、なんだか楽しみでワクワクしてしまうのは、このご夫婦の人柄なんでしょうね？

息子さんが作ってくれるごはんが生きる力



地域看護センターあんあん 田中春菜

「お疲れ様、ごはんだよ」

看護師が訪問するのは昼過ぎの1時間。看護師のケア中に台所では息子さんが遅めの昼食の準備をしています。毎回、デザートのフルーツまであり、訪問した看護師も惚れ惚れするお食事です。

連れ添った夫婦の姿

幸子さん(仮名、90歳)は、重症心不全で在宅酸素療法をしながら過ごされていました。訪問看護を開始したのは1月。医師からは余命1か月程のことでした。

幸子さんを主に介護されているのは92歳のご主人。とてもその年齢には見えないほど足腰がしっかりされ、幸子さんのオムツ替えからお薬の管理まで愛情を持ってケアされていました。

「痛い 痛い」

ご主人はいつも幸子さんことを気にかけ夜も隣で休まれていました。

ある晩(夜中の1時ごろ)、幸子さんが「痛い」「痛い」と繰り返し痛がるので、ご主人は困ってしまいました。それで『あんあんの緊急コール』を鳴らし訪問看護師に相談しました。

看護師が急いでご自宅を訪問すると…。ご主人が「やっちまいました」と、にこにこ照れた顔で迎えてくれたのです。「えっ？？？」

二人の足が重なり合ってしまいそれで幸子さんが痛がっていたとのことです。訪問時には痛みは解消し幸子さんは穏やかな笑顔。

そうやって頑張ってケアされていました。

まるで恋人同士

幸子さんも「私のことまでして大変そう」とご主人を心配しますが、「お前のことが大事だから」と、二人で見つめあって微笑みあう姿はまるで恋人同士のようでもあり、ご夫婦の深い愛情を感じました。

食べる楽しみ

幸子さんは酸素療法と内服療法で浮腫や息苦しさが一時的に改善されたものの、徐々に心臓は限界が近づいていました。看護師が訪問するたびに実施していた清拭(体を拭くこと)も身体への負担が大きくなり、ケアを終えるころには幸子さんはうつらうつらされることが多くなっていました。

しかし、そんな中でも息子さんから「ご飯だよ、お疲れさま」と声がかかると、目をキラキラ輝かせしっかりと目を合わせるのです。食事もいつも完食され、本当に生きる力となっているようでした。

幸子さんの最期は息子さんのお昼ご飯をおいしく食べきったあとでした。余命1か月と言われていましたが、見事な桜も、さらに新緑も楽しむことができました。

食は生きる力とあらためて感じ、家族の絆の深さを感じさせていただいた訪問でした。

(私も息子がいますが、おいしい食事を作れるように育てなくては…)

「がんサロンきぼう」

NPO 在宅ホスピスボランティアきぼう 川越博美

『がんサロンきぼう』は、NPO法人きぼうが、今年度新たに始めた活動です。がん経験者や家族が思いを分かちあい、がんであっても豊かな日々をすごせるよう語り分かちあう会です。パルシステム山梨の助成を受けて、第1回のがんサロンきぼうを6月1日に開きました。

がんサロンきぼうを開く前の準備

「がん患者さんと心のケア」と題して、リエゾンナースの川名典子さんを講師に勉強会をもちました。ボランティアの中には医師や看護師、心理学を学んだ者もいますが、多くは素人です。素人のボランティアであっても、「相手を気づかって理解しよう」とし、響きあう心と心のつながりを深める」という寄り添いはできるのではないか。そのことを具体的に学ぶために、川名さんにお話しをしていただきました。がん患者さんとの対話が言葉のキャッチボールになるようなコミュニケーションが大切であること。ボランティアがその役割を担うことができることなどを話してくださいり、私たちを勇気づけて下さいました。

第1回がんサロンきぼう

参加者6名、ボランティア8名で、第1回がんサロンきぼうを開きました。ミニ講義は、『がん』という病気について医師から話を聞きました。その後、ボランティア手作りのケーキを食べながら分かちあいの時をもちました。ボランティアの昨日までの不安や心配がうそのように、参加者一人一人が自身のがんのこと、今の状況を話して下さり、いつの間にか時間が過ぎていることも忘れてしまう程でした。



参加者の感想

参加者の感想です。「いつも一人で自分の病気のことを考えているので、同じ病気の人と話合えてよかったです」「話していると、病気の痛みを忘れることができました」「体調には周期があって、今日は体調が良い日で参加できてよかったです。元気をいただきました」「食欲があまりないのですが、今日のデザートは美味しく食べることができました」「こういう集まりは初めて知りました。がんの痛みや悩みを本音で話せて、今までのもやもや感が少し晴れました」「また来ます」

がん経験者やご家族の参加をお待ちしています。

(<https://www.volunteer-kibou.org> NPO 法人在宅ホスピスボランティアきぼう ホームページをご覧ください)

一般社団法人大んだん会

<長坂事務所> 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

- ・法人本部 **0551-45-9566**
- ・地域看護センターあんあん **0551-30-7505**
- ・定期巡回てくてく24 **0551-30-7787**
- ・訪問介護にこにこ **0551-30-7787**

<小淵沢地域> 408-0044 北杜市小淵沢町 10123-2

- ・わがままハウス山吹 **0551-45-6323**

<白州地域> 408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023

- ・グループホームわいわい白州 **0551-30-7566**

<オレンジ館（長坂上条）>

- ・リハ特化半日デイるんるん **0551-30-9251**
- ・オレンジサロン長坂・白州

408-0021 北杜市長坂町長坂上条 436-4